

2023.06.08. 木曜礼拝

道を踏み外さない Leitu 牧師

私たちはあなたの御前に来て、この時間をあなたに捧げます。あなたを畏れ、御前に立ちます。あなたは本当に美しいからです。私たちはあなたに仕えることができ、あなたを賛美することができ、とても祝福されています。そして、この時、父よ、レイトウ牧師が御言葉を伝えるとき、主よ、私たちの心にお語り下さり、私たちがあなたに集中できるように守ってください。もう一度、あなたに感謝します。イエスの御名によって祈ります。アーメン。アロ〜ハ！カルバリーチャペルカネオへの木曜日の夜の聖書の学びによろこお越しくございました。オンラインの皆さんも歓迎します。どうぞお座りください。J.D.牧師は、必要な休暇を過ごしています。休養が必要な彼のために、どうぞお祈りください。彼は仕事熱心です。本当によく働きます。皆さんも彼のことをよくご存じだと思います。どうか彼のことを祈り続けてください。私はレイトウ牧師です。木曜日は私がJ.D.牧師の代わりを務めます。日曜日はマック牧師がJ.D.牧師の代わりを務めます。今夜の御言葉に入りましょう。しかしその前に、祈りましょう。

お父さま、あなたの御前に出ます。ただあなたの御言葉に感謝します。主よ、あなたがモーセを通してあなたの民イスラエル人にあなたの御言葉をもたらしてくださったことに感謝します。あなたの御前に出て、あなたが今夜してくださることに感謝します。主よ、私たちは十字架を決して忘れません。あなたの御子を与えて下さったことを決して忘れません。十字架にかけなければならなかった私たちの罪をお許してください。イエスさま、感謝します。あなたは十字架に向かわれ、私たちのために、多くの痛み、恥を経験されました。聖霊様、あなたが私たちの中に入れ、封印してくださったことに感謝します。栄光から栄光へと私たちを変えていってください。私はあなたの御前に来て、あなたが今夜してくださるすべてのことに、ただ感謝します。主よ、今夜も誰かの心に、あなたの私たちへの愛を語ってくださいよう、祈ります。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

今夜のメッセージは「Stay the Course/道を踏み外さない」というタイトルにしました。

ヨシュア記 1 章 1 節から 2 節です。アブラハム以来、ユダヤ人は自分の土地を持つことがありません。彼らは遊牧民ですが、神に導かれています。この紅海の奇跡の後、神はご自分の民を故郷へと導かれます。神は彼らを新しい家、約束の地へと導かれます。神はこの任務のために、モーセとヨシュアを召されました。神は、夜には火の柱を立てて明かりとし、昼には雲の柱を立てて道を示されました。モーセは神の民をエジプトから導き出すために召されました。モーセは目的地に着く直前に亡くなります。ヨシュアは民を約束の地に連れて行くために召されました。モーセは約束の地を遠くから見っていました。一歩も足を踏み入れることなく亡くなりました。モーセは神に仕えた忠実な人です。モーセは主を愛していました。

しかし、怒りにまかせてその岩を叩いてしまったのです。(民数記 20:11 参照)

だから彼は、約束の地に入ることを許されませんでした。私たちは天でモーセに会います。彼が亡くなってから 1500 年後、ペテロ、ヨハネ、ヤコブが彼を見ました。彼らは、イエスと一緒にいるときにモーセを見たのです。変容されたイエスと一緒にいた時に。マタイによる福音書 17 章 1 節から 3 節に書かれています。

—マタイ 17:1—

それから六日目に、イエスはペテロとヤコブとその兄弟ヨハネだけを連れて高い山に登られた。

—マタイ 17:2—

すると、弟子たちの目の前でその御姿が変わった。顔は太陽のように輝き、衣は光のように白くなった。

—マタイ 17:3—

そして、見よ、モーセとエリヤが彼らの前に現れて、イエスと語り合っていた。

神の忠実なしもべモーセが亡くなりました。ヨシュアは神から、神の民を率いることを任されています。今、ヨシュアは、民を約束の地に導く使命を負っています。ヨシュアの名前は、モーセから与えられました。母親がつけた出生名ではありません。母親は彼に、「救い」を意味する「ホセア」という名前をつけました。モーセはこの青年の成長を見ていて、ヨシュアには何か違う、特別なものを感じました。そこでモーセは、彼に「ヨシュア」、あるいは「イエシュア」という名前を与えます。「神は救い」という意味です。ジェホバは救いです。ジーザス/イエスはギリシャ語で、イエスは「ジェホバが救い」という意味の名前です。聖書を見ると、モーセは律法の象徴であることがわかります。律法は、そこまでしかできません。私たちは罪のない人生を歩むことはできません。だから、律法は私たちに救い主が必要であることを明らかにしています。ヨシュアは、旧約聖書のイエスの型です。神の民に救いをもたらした神の御子、イエス。ヨシュアが神の民を物理的な約束の地に連れて行ったように、イエスは私たちが天の約束の地に連れて行ってくださいます。聖書の中で律法の象徴であるモーセを思い浮かべてみてください。悲惨なほど暑くて不毛な荒野があります。モーセはイスラエルをエジプトの奴隷の束縛から導き出し、そこで400年間を過ごしました。モーセは紅海を渡って彼らを自由へと導き、その後、不信仰のために40年間荒野をさまよいました。その間に、神はモーセに十戒を与えられました。イスラエルの民は約束の地に入ろうとしています。約束の地に入ろうとした時、繰り返しますが、モーセが亡くなります。モーセは律法の象徴です。私たちと神との関係における律法の描写です。律法では、ここまでしかできません。律法は、私たちが神との完全な関係に導くことはできません。多くのクリスチャンは、私たちの主との間に律法主義的な関係を持っています。私が聞いたことのある律法主義の一番良い定義はこうです。

「神が決して意図しなかった、人間が作り上げたルール」

行いと実績の功績主義に基づくものです。これが、神の行いや成果に対してのお考えです。イザヤは、主への祈りの中で、こう祈ります。これはイザヤ書64章5節から6節からです。

—イザヤ 64:5—

あなたは迎えてくださいます。喜んで正義を行う者、あなたの道を歩み、あなたを忘れない者を。ああ、あなたは怒られました。私たちは昔から罪を犯し続けています。それでも私たちは救われるでしょうか。

—イザヤ 64:6—

私たちはみな、(罪で侵され) 汚れた者のようになり、私たちの義はみな、不潔な着物のようです。…すべての偽宗教は、この行いによる救いの実践に従っています。彼らの考えでは、より多くのことを行い、より良く振る舞うことで、神に好意を抱かれるようになるのです。しかし、あなたが神のために十分なことをしたかどうかは、決してわかりません。いつも最高の振る舞いを心がけたほうがいい、と。罪を犯した途端、また神と問題が起きるからです。罪悪感や罪責感に逆戻りしてしまいます。今、その関係は断ち切られています。神に近づくことはできません。神はあなたに怒っているからです。これではしばらくは、神から距離を置くことになります。もしかしたら、もう主の元には戻れないかもしれません。あまりにも恥ずかしく、あまりにも責められるのです。だから、モーセは民を約束の地に連れて行くことができませんでした。律法は、私たちが神との完全な関係に導くことはできません。繰り返しますが、モーセは律法の象徴です。モーセは国境までたどり着きましたが、そこまででした。イザヤ書64章

6節の「不潔な着物」に戻りたいと思います。私たちはクリスチャンとして、自分の行いによって救われるのではないということを知っています。私たちは、救われた後、善い行いをしたいと願うことを分かっています。繰り返しますが、行いは救いの根拠や手段ではありません。イザヤの時代のユダヤ人も、私たちの時代の人々も、ほとんどがそう思っていました。それが天国への切符を保証するものだと思ったのです。旧約聖書でも新約聖書でも、初めから救いは常に信仰によるものでした。創世記 15 章 6 節。

—創世記 15:6—

彼（アブラム）は主を信じた。主はそれを彼の義と認められた。

神と神の御言葉への信仰によって、彼は救われました。神は彼の名をアブラハムと変えられました。アブラハムの血筋によって、イエスが誕生されます。イエスは、罪のための最後の犠牲として命を捧げられました。私たちは、人間にではなく、神が私たちを救うために選ばれた方法、すなわち、御子を遣わし十字架で死なせられたことに信仰を置くことで救われます。神がイザヤ書で「あなたの行いは不潔なぼろ布のようなものだ」と言われたとき、それは、彼らが神の救いの方法、旧約聖書では神への信仰と神に従うこと、新約聖書ではイエス・キリストへの信仰を拒否しているからです。今、イスラエルの民はヨルダン川を渡ろうとしています。川の向こうには、乳と蜜の流れる土地が広がっています。神がイスラエルに約束された地です。ヨシュアはこれから、約束の地を受け継ぐために、主の民を導くことになります。イエスとヨシュアの名前は同じ意味であることが分かっています。ジェホバ、「神は救い」律法の型であるモーセは、民を率いて荒野を進みました。今、ヨシュアは神の民を神の約束に導くために召されています。ヨシュアは今、神が民のために備えておられる豊かさの中に彼らを導きます。ヨシュアは、イスラエルをこの地の物理的な豊かさにも導きます。イエスは、私たちをイエスのうちにある霊的祝福へと導かれます。私たちを神との完全な関係に導いてくれるのは、キリスト教だけです。キリスト教は唯一無二です、なぜなら、それは真理であり、モーセから始まる神によって伝えられた真理だからです。彼は私たちの聖書の最初の五書を書きました。ヘブライ語で「トーラー」です。神は、人を通して、また聖霊に満たされた人を通して、真理を伝えられました。神の私たちへの愛を美しく描き出す真理を。私たちクリスチャンは、イエス・キリストの福音にとっても感謝しています。私たちは、愛に満ちた神に近づくことができます。それは、主の血で買い取られた新しい契約です。私たちは今、神との真の愛の関係を持つことができ、それはシンプルにイエスを信じる信仰によるものです。

—ヨハネ 3:16—

神は実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

モーセは、神の民を暑くて荒れた荒野の中に連れて行きました。ヨシュアは、神の民に川を渡らせ、その地に入らせました。イエスは神が私たちのために備えておられる、救いと天国が最高であるという約束の全容に、私たちを導いてくださいます。だから、砂漠の荒野の長い旅でした。彼らは勝利も敗北も経験してきました。彼らはヨルダン川を渡る準備をするところです。約束の地に入る準備ができています。その先には、大きな戦いが待っています。ヨシュアは、今、神の民を率いてカナンを征服することになります。神はなぜ、民をカナンの地に導かれるのでしょうか。この地は、神がアブラハムに約束された地です。創世記 13 章 12 節から 18 節に書かれています。

—創世記 13:12—

アブラハムはカナンの地に住んだが、ロトは低地の町々に住んで、ソドムの近くまで天幕を張った。

—創世記 13:13—

ところが、ソドムの人々はよこしまな者で、主に対しては非常な罪人であった。

—創世記 13:14—

ロトがアブラムと別れて後、主はアブラムに仰せられた。「さあ、目を上げて、あなたがいるところから北と南、東と西を見渡しなさい。

—創世記 13:15—

わたしは、あなたが見渡しているこの地全部を、永久にあなたとあなたの子孫とに与えよう。

アブラハムはヨシュアが来る前にカナンの地に住んでいたことがわかります。その後、アブラハムの孫、ヤコブには 12 人の息子がいました。ヤコブは一族の家長です。彼はお気に入りの息子、ヨセフを失ったと思っています。干ばつのため、ヤコブはエジプトに助けを求めます。ヤコブは、神はすべてのことを自分の益となるように働かせておられることを知りません。息子のヨセフは生きていて、エジプトで 2 番目の権力者です。ヤコブは食料を買うため、息子たちをエジプトに送ります。息子たちはヨセフとは知らずに副司令官と会います。ヨセフは目の前の兄弟たちを見て涙を流します。彼の兄弟は、このエジプトの指導者が自分たちの兄弟であることを知りません。彼らの悪しき行い、ねたみと嫉妬によって弟のヨセフが殴られてから 22 年が経ちました。たまたま通りかかった隊商とともに、ヨセフを送り出しました。ポティファルはヨセフを誘惑しようとしませんが、彼は逃げます。彼は無実の罪を着せられ、囚人となります。彼は調理官、献酌官、そして最後にファラオの 3 人の夢を解き明かすことが出来ます。最後はエジプトという国の副司令官になります。だからヨセフは、自分を追い出そうとした兄弟たちの悪たくみを赦しました。ヨセフは父ヤコブをエジプトに連れて来るよう求めます。その飢饉のとき、人々を助ける食料と水がありました。ヨセフの家族が来たとき、歓迎会がありました。ヨセフの父ヤコブを含め、75 名でした。これらはアブラハムの子孫です。ヨセフを知らない新しいファラオがエジプトを支配することになりました。イスラエルの民は急速に増え、脅威とみなされるようになりました。彼らはエジプトで軍事的な危険性をはらんでいました。そして、ファラオは神の民を奴隷にしました。かつて自由な民だったアブラハムの子孫は、奴隷にされてしまいます。神はモーセを用い、彼らを解放されます。ヤコブの子孫は、祖父のアブラハムに与えられた、神から与えられた土地に帰っていきます。神はモーセとヨシュアを用いて、彼らを帰らせようとしておられます。解放された後、民は主を喜び感謝するどころか、モーセに文句ばかり言います。エジプトからカナンまでの旅は、3~4 週間だったはずでした。イスラエルの民は完了するのに 40 年かかりました。なぜ、この旅はこんなに時間がかかったのでしょうか？

紅海を渡ったイスラエルの民は、カデシュ・バルネアに到着しました。神は、彼らにそこを与えられたので、その土地に入り、その土地を得るようと言われました。12 人の使者が派遣され、その土地を偵察しました。彼らは 40 日間かけて、この新しい土地を調査しました。10 人の使者が悪い報告を持ち帰りました。「この地には巨人がいる。彼らは私たちにとって強すぎる。」彼らは恐れで満たされ、神と神の御言葉を信頼しませんでした。10 人の使者には、信仰がありませんでした。ヨシュアとカレブは、別の報告を持ち帰りました。彼らはこう言いました。「ここは良い土地だ。入って、奪い取ろう。」この二人は、強い信仰を持った大胆な人でした。前途にある挑戦を恐れず、前途にある戦いのために神に備えられた男たちです。神が入れとおっしゃるなら、彼らは勝利のために神に信頼しました。

「神は私たちと共にいてくださるから、私たちは巨人たちを倒すことができる。」

民はモーセに文句を言い、信仰を持たない者に味方しました。決定を下し、入りませんでした。神は約束

の地へ入ることを40年遅らせられました。1年、毎日、信仰のないイスラエルの民はその地にいました。エジプトを出た反抗的で文句の多い大人たちは皆、荒野で死んでしまいました。約束の地にたどり着いたのは、ヨシュアとカレブだけでした。そこで神は、カナンを征服し、その地の人々を完全に破壊し、追いつくために彼らを遣わそうとしておられます。神がカナン人を打ち倒すことを命じられたのです。カナン人が邪悪な偶像崇拝の民であったことは分かっています。父に罪を犯したノアの息子、ハムを思い出します。創世記9章20節から25節にそのことが書かれています。ノアは酔っ払って、裸で床に寝転んでいました。すると、息子のハムがそれを見て、父（ノア）を馬鹿にしました。そして、兄弟のヤペテとセムに言いました。どうやらヤペテとセムは、これをあまり面白いとは思わなかったようです。彼らは代わりに父に布をかけました。父の裸を見ないように、後ろ向きに歩いたりもしました。ノアは目を覚まし、何が起こったのかを知りました。すぐにハムの孫であるカナンに呪いをかけました。なぜ、父ハムではなく、カナンが罰せられたのでしょうか？ 憶測はありますが、聖書には書かれていません。聖書が沈黙しているのなら、私達も沈黙すべきです。カナンへの罰は厳しく、ハムの子孫はヤペテとセムの血筋に永遠に仕えることになりました。ハムの兄弟の家族が、彼の子孫を支配することになります。この呪いは、神によってカナン人と入れ替わることで成就されます。モーセとヨシュアはセムの血筋から生まれました。神は、ご自分の民が世から切り離されることを望まれました。神は、ご自分の民が世間にとって良い模範となること、つまり、神にかなった人々の姿を示す良い模範となることを望まれました。世界における神の大使は、神をよく表していなければなりません。カナンの民はハムのせいで、神に呪われました。ハムの子孫は、彼の足跡をたどりました。各世代が前の世代の悪習慣を真似ました。世代間の呪いは、一部の人が信じているように、聖書的なものではありません。申命記5章9節を簡単に言えば、悪い習慣はコピーされるということです。そして、その悪い行いは次の世代にも真似されます。聖書には、私達たちは皆、罪を犯したと書かれています。罪が問題であり、悲しいことに私達たちは皆それを受け継いでいます。だからヨシュアは、カナン人を征服し、取り除くことになりました。彼らはどこまでも邪悪だったからです。神は、モーセの後を継いで、神の民を神の御心に適うように導くために、生涯ヨシュアを準備しておられました。ヨシュア記の著者は不明です。そのほとんどをヨシュアが書いたという強い証拠があります。彼が著者であることに対する反論もあります。聖霊が聖書を書かれたことを知っているのです。どちらの議論も無意味です。ヨシュア記1章1節から始めましょう。

ーヨシュア 1:1ー

さて、主のしもべモーセが死んで後、主はモーセの従者、ヌンの子ヨシュア告げて仰せられた。

ーヨシュア 1:2ー

「わたしのしもべモーセは死んだ。今、あなたのすべての民は立って、このヨルダン川を渡り、わたしがイスラエルの人々に与えようとしている地に行け。モーセはヨシュアにとって、神への信頼を示す輝く存在でした。神はモーセに「山に来てそこで待ちなさい」と呼びかけられました。

山で神はモーセに十戒である石の板を与えられました。モーセはヨシュアを補佐役として育て、神は山で石の板を与えるとき、共に行動します。出エジプト記24章12節から13節にそのことが記されています。

ー出エジプト 24:12ー

主はモーセに仰せられた。「山へ行き、わたしのところに上り、そこにおれ。彼らを教えるために、わたしが書き記したおしえと命令の石の板をあなたに授けよう。」

ー出エジプト 24:13ー

そこで、モーセとその従者ヨシュアは立ち上がり、モーセは神の山に登った。

モーセは、信頼できる若者、主の事に対して同じ志を持つ若者を育て、育てることに知恵がありました。モーセは40年間イスラエルを率いて、多くの試練から彼らを救い出しました。彼はヨシュアに指導者として備えさせるだけでなく、神に対する深い愛と信頼を伝えました。ヨシュアは、モーセの模範を思い出し、それに従うことが賢明でしょう。モーセが死んだとき、民は大きな影響を受けました。しばらくの間、ヨシュアも落胆したでしょう。彼は長年従ってきた人を失っただけでなく、神の民に関する最終決定を下さなければならなくなりました。彼の召しには、大きな責任が伴いました。その召しに、プレッシャーも加わりました。確かに心配していて、不安になる瞬間もあったと思います。民は、ヨシュアのことを知っていました。いつか彼が後を継ぐと知っていましたが、民は長い間モーセを頼りにしていたのです。ヨシュアの指揮を全面的に信頼できるようになるまでには、時間がかかるでしょう。民は30日間喪に服します。30日後、神はヨシュアに立ち上がるよう命じられます。ヨシュアは、モーセのような偉大な神に仕える人と同じように、大きな責任を負わなければなりません。神は、この召しのためにヨシュアを生涯にわたって準備されました。私が大好きで、尊敬しているチャック・スミス牧師。以前、ストーンブレイカー牧師と一緒にこの島でアウトリーチをしていたときも、彼に会ったことがあります。

チャック・スミス牧師の言葉で、私がとても好きな言葉があります。「神が導くところに、神の備えがある」チャックは、いつもお金を要求してくるミニストリーに批判的でした。

「神がそのミニストリーを養っておられないのであれば、もしかしたら、扉を閉めるべき時なのかもしれない」と彼は言います。また、「神の召しは神が可能にする」とも言われました。神は必ず、あなたに召されたことのために、あなたを備えてくださいます。あなたを置き去りにすることは決してなさいません。エレミヤ書にあるように、神はあなたが胎内で形成される前からあなたを知っておられました。

(エレミヤ 1:5 参照)

主はあなたを造られ、あなたの人生に計画していることのために、あなたに才能を与えてくださいました。主を信頼し、進んでください。ヨシュアは信仰の一步を踏み出し、責任を受け継ぎました。彼は、神の召しを果たすべく、歩み出します。軍の指導者としての強みがあったとはいえ、少なくとも100万人以上の人を率いるのは大変なことです。しかし、神が彼とともにおられたので、それを成し遂げることができました。神は能力のある者を召されるのではなく、召した者に能力を与えられます。ヨシュアは自分の召しに疑問を持ったはずですが、自分の力が主から来たものであることを知っていました。第一コリント人への手紙1章26節から29節には、こう書かれています。

ーIコリント 1:26ー

兄弟たち、あなたがたの召しのことを考えてごらんください。この世の知者は多くなく、権力者も多くはなく、身分の高い者も多くはありません。

ーIコリント 1:27ー

しかし神は、知恵ある者はずかしめるために、この世の愚かなものを選び、強い者はずかしめるために、この世の弱い者を選ばれたのです。

ーIコリント 1:28ー

また、この世の取りに足りない者や見下されているものを、神は選ばれました。すなわち、有るものをない者のようにするため、無に等しいものを選ばれたのです。

ーI コリント 1:29ー

これは、神の御前でだれをも誇らせないためです。

そうすることで、神がすべての栄光を受けられます。アーメン？ ヨシュアは、自分の力がどこから来るかを知っていました。エジプトからの脱出の初期から、イスラエルの民は大きな戦いに挑んでいました。アマレク人と戦いました。出エジプト記 17 章 10 節から 14 節にそのことが書かれています。

ー出エジプト 17:10ー

ヨシュアはモーセが言ったとおりにして、アマレクと戦った。モーセとアロンとフルは丘の頂に上った。

ー出エジプト 17:11ー

モーセが手を上げているときは、イスラエルが優勢になり、手を降ろしているときは、アマレクが優勢になった。

ー出エジプト 17:12ー

しかし、モーセの手が重くなった。彼らは石を取り、それをモーセの足元に置いたので、モーセはその上に腰掛けた。アロンとフルは、ひとりはこちら側、ひとりはこちら側から、モーセの手をささえた。それで彼の手は日が沈むまで、しっかりそのままであった。

ー出エジプト 17:13ー

ヨシュアは、アマレクとその民を剣の刃で打ち破った。

勝利の後、主はモーセに指示されました。

ー出エジプト 17:14ー

…「このことを記録として、書き物に書きしるし、ヨシュアに読んで聞かせよ。…」

もう一度、「ヨシュアに読んで聞かせよ。」神は、ヨシュアが戦いに勝利したことを確信するようにされました。その戦いに勝利したのは、ヨシュアではありません。それは主でした。神はモーセに「必ずヨシュアに読ませるように」と言われました。神はヨシュアを、約束の地に民を導くという将来の計画のために準備しておられます。私たちが主のために働くとき、あるいはクリスチャンとしての生活の中で勝利を得たとき、私たちの助けがどこから来るのかを常に思い出すことができるように祈ります。それは、主から来るものです。神はプライドや傲慢さに満ちた人を召されません。

「神は高ぶる者を退け、へりくだる者に恵みを与えられる」(ヤコブ 4:6 参照)

だからヨシュアは、モーセが示した模範、モーセが神自身から得た模範に従います。彼は神に従順な人でした。彼は自分の人生における神の召しに従順でした。ヨシュアは指導者でありながら謙虚であり、神は彼を用いられました。ヨシュアは優れた軍事戦術家でした。神は彼に、これから起こる多くの戦いのための戦士としての才能を授けました。謙虚で教えを受け入れる人でした。そうでなければ、神は彼を用いることはなかったでしょう。彼は神の人でした。ヨシュアの中に、神の人がどのような人であるかを見れます。ヨシュアは、人格者であり、誠実であり、謙虚な人でした。箴言 12 章 24 節には、こう書かれています。

ー箴言 12:24ー

勤勉な者の手は支配する。無精者は苦役に服する。

ヨシュアは働き者でした。ヨシュアは、荒野での放浪中に生まれ育った新しい世代のイスラエル人の面倒を見ることになりました。エジプトを出てすぐ生まれた人たちは、もう 40 歳になっています。彼らの家族は、全員ではないにせよ、ほとんどが荒野で死に、滅んでしまいました。だから、ヨシュアには、

神のことを導き、教えるための群れがいます。この世代にも、来たる戦いのために戦いの訓練をするのです。彼には多くの仕事がありました。ですから、私たちクリスチャンも、神が私たちに召された仕事、先日 JD 牧師が「神が私たちが召された場所ならどこでも、それが私たちのミニストリーだ」と話してくれた仕事に備える必要があります。それは仕事かもしれないし、家族かもしれないし、教会かもしれない。私の祈りは、私たちが一生懸命働くこと、私たちが最善を尽くすことです。私たちがクリスチャンだと知っている人たちは、私たちがよく見えています。私たちが本物であることを知りたがっています。彼らは傷ついており、特にこんにち、答えを必要としています。絶妙なタイミングで、あなたのもとへやってくるでしょう。祈るためかもしれません。もしかしたら、イエスについて聞きたいのかもしれません。コロサイ人への手紙 3 章 23 節から 24 節には、こう書かれています。

ーコロサイ 3:23ー

何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心からしなさい。

ーコロサイ 3:24ー

あなたがたは、主から報いとして、御国を相続させていただくことを知っています。あなたがたは主キリストに仕えているのです。

モーセと同じように、ヨシュアも完璧ではありませんでした。私たちみんなと同じように、彼は間違いを犯しました。しかし、彼がやったことはすべて正しい道でした。神は彼を、ご自分の大切な人々を導くために用いられます。ヨシュアには、彼のリーダーシップゆえに不平や不満を持つ者はいても、民は満足していたでしょう。箴言 29 章 2 節にはこう書かれています。

ー箴言 29:2ー

正しい人がふえると、民は喜び、悪者が治めると、民は嘆く。

悲しいことに、悪い指導者のもとでは、人も国も苦しんでしまいます。個々のリーダーとして、あるいは国家として、神の原則に従わなければ大変なことになる。ヨシュアには、彼を助けてくれる周りの人たちが必要でしょう。モーセが彼を指導したように、彼には志を同じくする敬虔な人たちが必要でした。カレブはそのような人物でした。箴言 11 章 14 節にこうあります。

ー箴言 11:14ー

指導がないことによって民は倒れ、多くの助言者によって救いを得る。

ヨシュアには、神からの助言と励ましが必要でした。神を第一に求め、戦いに向かって突き進み、困難に直面しても動じない人たちが必要でした。私たちは、人生のすべての領域で、常に主を第一に求めるべきです。兄弟姉妹に打ち明けることができるのも、恵まれたことだと思います。彼らは、あなたが見ていないような問題に対する視点を持っているかもしれません。神は私たちにさまざまな賜物を与えてくださいます。賢明な指導者は、集められたすべてを受け取り、すべての事実を考慮した後に、それを主の前に差し出します。ヨシュアは、常に主を第一に求めるべきであると知っています。この先に見られるように、彼はいつもそうだったわけではありません。彼はその代償を払うことになりました。だから、私たちも、さまざまな戦い立ち向かうための励ましが必要です。私たちは、人生のすべての決断において、常に主を第一に求めるべきです。多くの場合、私たちは主の前を行ってしまい、その結果に苦しみます。希望は、失敗から学び、主を待ち望むことです。主のタイミングはいつも完璧です。ヨシュア記 24 章 14 節から 15 節にはこう書かれています。

ーヨシュア 24:14ー

今、あなたがたは主を恐れ、誠実と真実をもって主に仕えなさい。あなたがたの先祖たちが川の向こう、およびエジプトで仕えた神々を除き去り、主に仕えなさい。

ーヨシュア 24:15ー

もし主に仕えることがあなたがたの気に入らないなら、川の向こうにいたあなたがたの先祖たちが仕えた神々でも、今あなたがたが住んでいる地のエモリ人の神々でも、あなたが仕えようと思うものを、どれでも、きょう選ぶがよい。(しかし) 私と私の家とは、主に仕える。

アーメン。(会衆：アーメン)

お立ちください。天のお父さま、私たちはあなたの御前に行き、あなたに感謝します。私の祈りは、クリスチャンとして、主よ、道を踏み外さないようにすることです。モーセやヨシュアが生涯そうであったように、私たちも主よ、あなたと共に歩み続けます。彼らは、主よ、あなたがいかに良いお方であるかを私たちに示す素晴らしい模範です。私たちは今日、主よ、あなたの御前に出て、あなたが私たちの人生を通して行っておられることについて、あなたにすべての賞賛とすべての栄光を捧げます。主よ、私たちをこの世界が必要とする輝く模範とさせてください。主よ、あなたのことを正しく歩ませてください。私はあなたの御前に来て、あなたの御子イエスを感謝し、私たちが救いを得ることができるように、イエスを遣わしてくださったことを感謝します。主よ、あなたがこの場所にいる人々、そして世界中にいるオンラインの人々の中で、彼らを通してなさろうとしているすべてのことに感謝します。

お父さま、感謝します。あなたを賛美し、あなたを称え、あなたに感謝します。イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7